



# Dermaroller<sup>®</sup>

THE ORIGINAL SINCE 1999

*for your skin*



The Original. Made in Germany.

### History



- 1999: Founding of H.Liebl ets in Frankreich
- 2000: Patent application Dermaroller
- 2005: Certification according to ISO 9001:2000
- 2006: Founding of Dermaroller SarL
- 2008: Founding of Dermaroller SarL Deutschland, CEO M. Tomerius
- 2008: Certification according to ISO 13485, M.Tomerius
- 2010: Founding of Dermaroller GmbH
- 2013: Introduction of the eDermastamp and the CIT Solution
- 2013: Introduction of New Natural Line Skin Care
- 2013: Resignation of GF H.Liebl
- 2014: Takeover of the Dermaroller GmbH by the mi.to.pharm GmbH
- 2019: Founding of TARANIS Holding
- 2019: Founding of mi.to.pharm Asia Pacific Ltd.
- 2021: mi.to.pharm americas Corp.

## マイクロニードリング インベンター

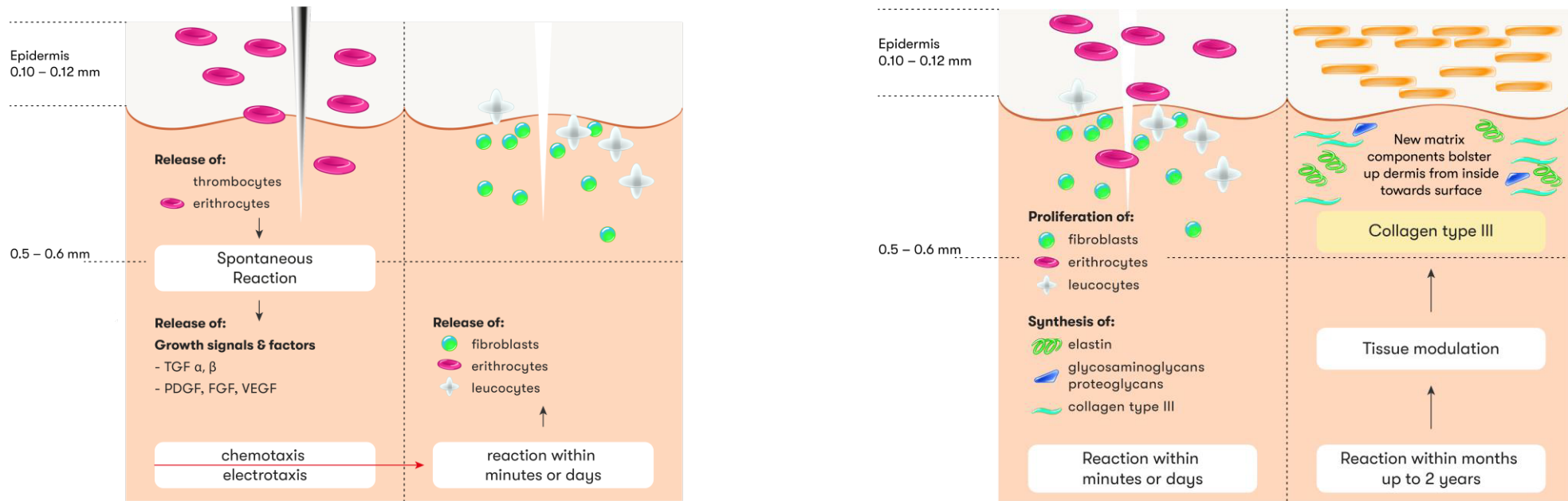
(ダーマローラーを生み出したパイオニア企業)現代のスキンケアコンセプトのパイオニア



## マイクロニードリングの作用 - ダーマローラーの機能

# コラーゲン誘発療法

マイクロニードル治療では、皮膚の外層（表皮、および針の長さによっては真皮）の穿刺が最小限に抑えられるため、傷は発生しません。穿刺孔はすばやく閉鎖します。損傷した皮膚組織を再生するための身体独自の修復プロセスにより、短時間で上皮機能を回復させることができます。このプロセスは「経皮的コラーゲン誘導」(PCI)または「コラーゲン誘発療法」(CIT)とも呼ばれます。「弾力、みずみずしさ、リフトアップ、ハリツヤ」など

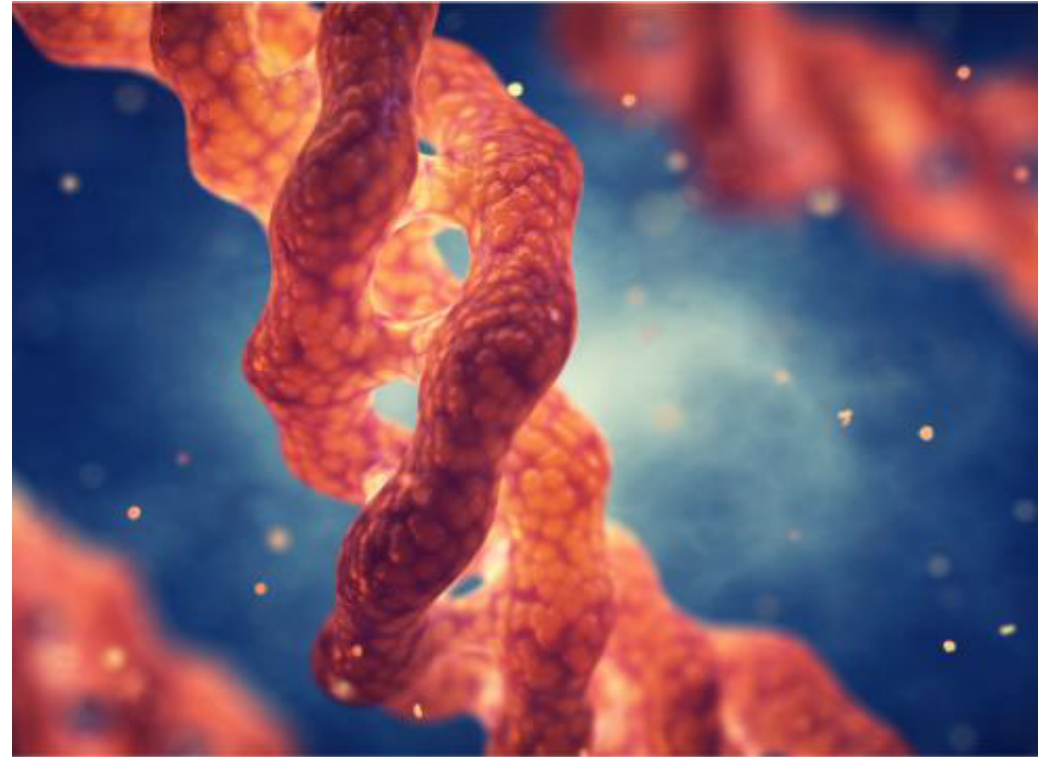




# 皮膚細胞増殖

表皮と真皮の間にある基底層を刺激することで細胞分裂が活性化され、ターンオーバーを促進します。

「キメ・小じわ・シミ・くすみの改善、トーンアップ」など

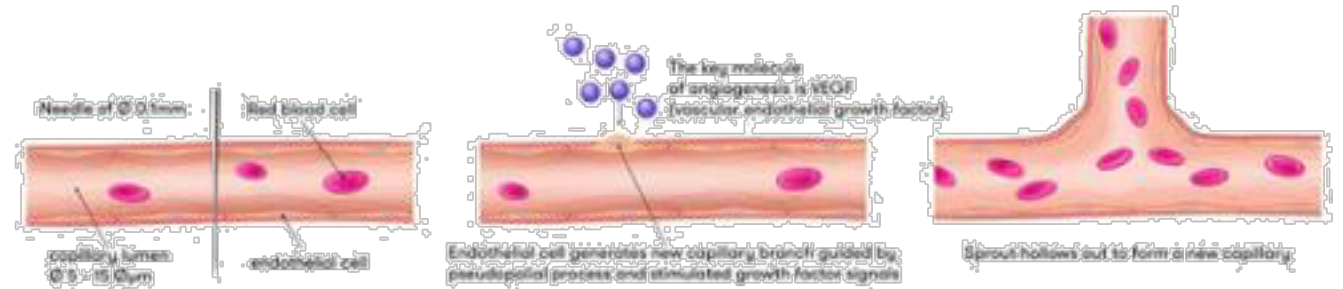
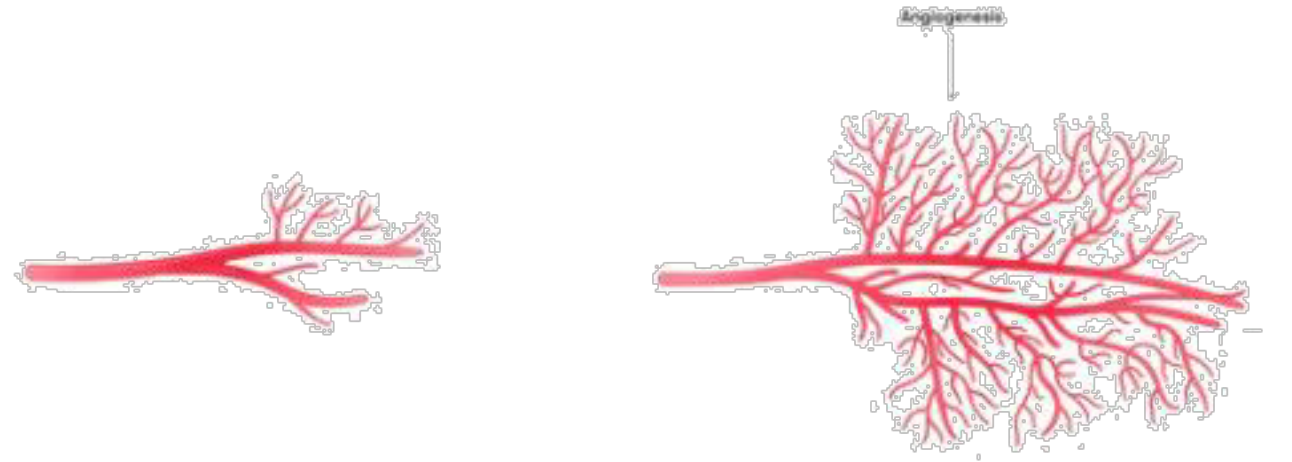


# 血管新生

微細な創傷治癒の過程で組織が再生されると、血管内皮細胞分裂の促進（血管新生）が起こります。

血管新生は、血液循環の改善や積極的な創傷治癒を促します。

「ニキビ跡の改善、薄毛改善・毛髪再生」など



# 経皮吸収

マールブルグ大学(ドイツ)でのダーマローラーの研究

皮膚からの活性物質の体系的な吸収は非常に限られており、角質層のバリアーによって大部分が阻止されています。

マールブルグ大学やイエナ大学は、小さなリポソームでさえ、12時間の間にわずか0.3%しか皮膚に浸透しないという証拠を示しています。

一方、ダーマローラーで角質層を処理すると、有効成分の浸透量は1000%以上増加します。

## 「皮膚への浸透力が大幅に向上」

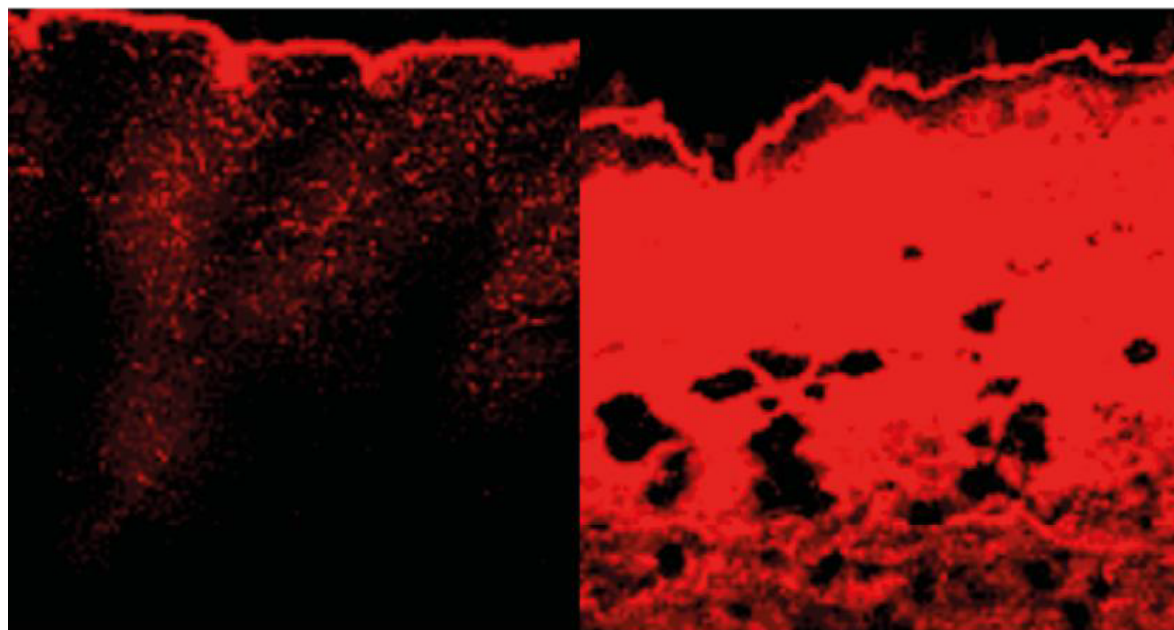
出典：大学の研究、2000年、

マールブルク(ドイツ)

ダーマローラーによる経皮送達の有効性を証明

Control with normal cream

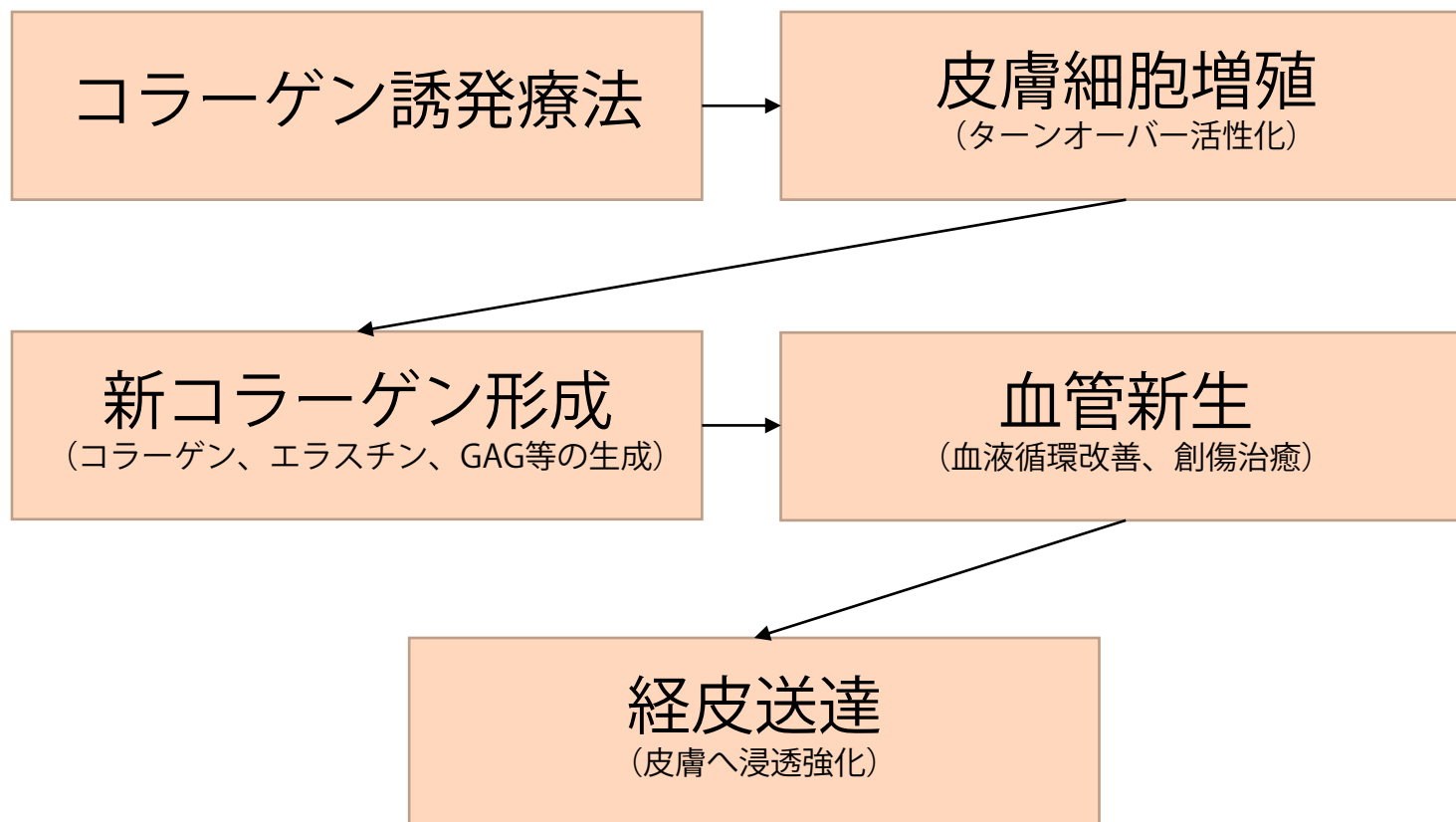
Liposomes enhanced with the Dermaroller



Maximum 0.3 % can penetrate the stratum corneum

Up to 200 more active ingredients can get into the Stratum Corneum.

# マイクロニードリングの作用



# ダーマローラーオリジナル:軽い圧力

使用する針が鋭利で数が最適であるため、皮膚を穿刺するのに必要な圧力はわずかです。

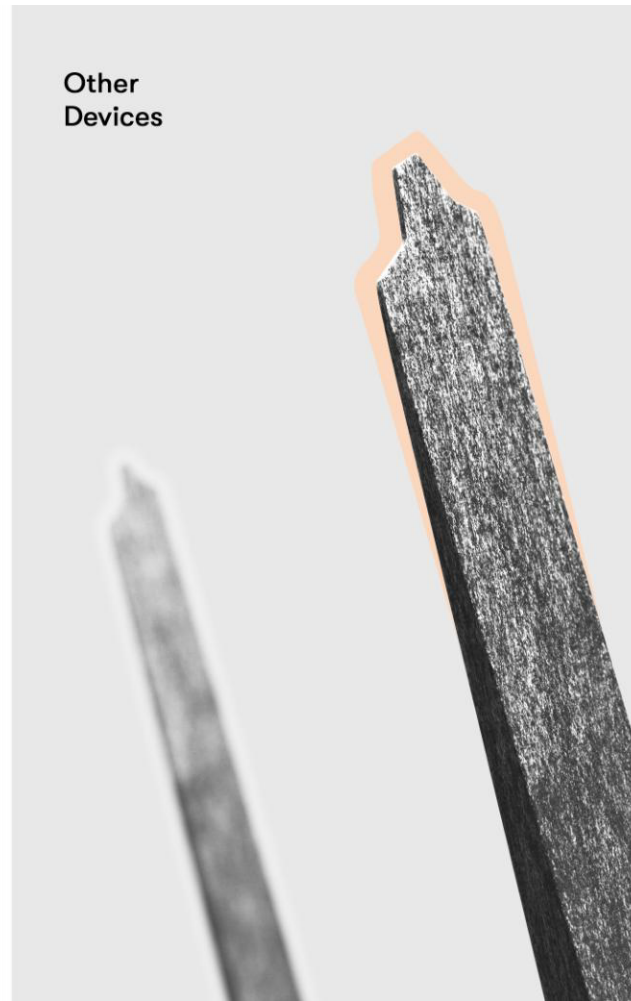
したがって、制御不能な皮膚の損傷が回避されます。





# ダーマローラーオリジナル:非外傷性針使用

ダーマローラー社が使用する針は単独した綺麗な円錐状のためダウンタイムが少ない



他のマイクロニードル ローラー:  
針ではなくディスク ニードル プレートを使用されて  
います。皮膚に優しく穴をあけるのではなく、皮膚  
を引き裂いてしまいます。


## なぜダーマローラーのオリジナル?

- \*162本の正確に配置された針
- \*医療グレードステンレス製
- \*軽くて人間工学に基づいたハンドル
- \*接着針不使用
- \*医療機器製造工程での製造品質
- \*マイクロニードリングを生み出したパイオニアであり、ダーマローラーの開発者
- \*穏やかな穿孔
- \*軽い圧力で十分
- \*非外傷性針使用-ディスクニードルプレートなし
- \*ドイツ製

# 特許一覽

## Patent/anmeldungen der Dermaroller GmbH

Titel	L&T-Aktenzeichen	Land	Anmeldenummer	Anmeldetag	Patentnummer	Status
Nadelmodul für ein Hautpunktierungsgerät und Hautpunktierungsgerät mit derartigem Nadelmodul	D.P 249 DE	Deutschland	102016006186.3	18.05.2016	-	erloschen seit 03.12.2019
Nadelmodul für ein Hautpunktierungsgerät und Hautpunktierungsgerät mit derartigem Nadelmodul	D.P 249 EP	EP	17000842.9	17.05.2017	3246067	erteilt
	D.P 249 AT	Österreich	17000842.9	17.05.2017	E1045288	erteilt
	D.P 249 CH	Schweiz	17000842.9	17.05.2017	3246067	erteilt
	D.P 249 DE EP	Deutschland	17000842.9	17.05.2017	502017000182.3	erteilt
	D.P 249 FR	Frankreich	17000842.9	17.05.2017	3246067	erteilt
	D.P 249 GB	Großbritannien	17000842.9	17.05.2017	3246067	erteilt
	D.P 249 NL	Niederlande	17000842.9	17.05.2017	3246067	erteilt
Vorrichtung und Verfahren zum Einbringen eines Wirkstoffs in die Haut	L.P 884 DE	Deutschland	100636349	20.12.2000	10063634	erloschen seit 20.12.2020
Hautpunktierungsstempel und seine Verwendung	L.P 933 DE	Deutschland	102008030894.3	30.06.2008	102008030894	erteilt



(19) Bundesrepublik Deutschland  
Deutsches Patent- und Markenamt

(10) DE 100 63 634 B4 2006.01.12

(12) **Patentschrift**

(21) Aktenzeichen: 100 63 634 9  
 (22) Anmeldetag: 20.12.2000  
 (43) Offenlegungstag: 11.07.2002  
 (45) Veröffentlichungstag der Patenterteilung: 12.01.2006

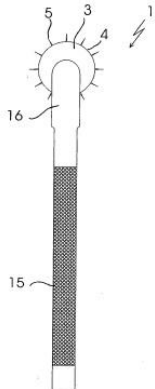
(51) Int. Cl.: **A61M 37/00** (2006.01)

Innerhalb von drei Monaten nach Veröffentlichung der Patenterteilung kann nach § 59 Patentgesetz gegen das Patent Einspruch erhoben werden. Der Einspruch ist schriftlich zu erklären und zu begründen. Innerhalb der Einspruchsfrist ist eine Einspruchsgebühr in Höhe von 200 Euro zu entrichten (§ 6 Patentkostengesetz in Verbindung mit der Anlage zu § 2 Abs. 2 Patentkostengesetz).

<p>(73) Patentinhaber: Liebl, Horst, Zelsheim, Elsaß, FR</p> <p>(74) Vertreter: Patentanwälte Lang &amp; Tomerius, 80336 München</p> <p>(72) Erfinder: gleich Patentinhaber</p>	<p>(56) Für die Beurteilung der Patentfähigkeit in Betracht gezogene Druckschriften: DE 195 18 932 A1 DE 200 07 566 U1 FR 25 26 655 DT 2427063 A1;</p>
---	--

(54) Bezeichnung: **Vorrichtung und Verfahren zum Einbringen eines Wirkstoffs in die Haut**

(57) Hauptanspruch: Vorrichtung (1) zum Einbringen eines Wirkstoffs in die Haut mit einer um ihre Längsachse (2) drehbar gelagerten Walze (3), auf deren Außenumfangfläche (4) eine Vielzahl von Nadeln (5), die zumindest in einem über die Außenumfangfläche (4) vorstehenden Bereich (6) nach außen spitz zulaufend ausgebildet sind, radial nach außen vorstehen, dadurch gekennzeichnet, dass die Nadeln (5) mit einer Länge (L) von 0,12 bis 1,5 mm über die Außenumfangfläche (4) vorstehen und im Spitzenbereich (6) einen Durchmesser von 0,05 bis 0,1 mm aufweisen.



# 商標一覽

No.	出願番号/ 登録番号/ 国際登録番号	商標見本	商標 (検索用)	称呼 基準 ▲	称呼 (参考情報)	区分	出願人/ 権利者/ 名義人	出願日/ 国際登録日 ▲ (事後指定日)	登録日 ▲	ステータス ▲	各種機能
1	<a href="#">登録6625984</a> (商願2022-057160)		§T∞Derma roller	-	テイ,ダーマロー ラー	44	ダーマロー ラー ケーエ ムベーパー	2022/05/19	2022/10/11	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>
2	<a href="#">登録6632768</a> (商願2022-057161)		Derma ro ller	-	ダーマローラー	03 05 10 ...	ダーマロー ラー ケーエ ムベーパー	2022/05/19	2022/10/26	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>
3	<a href="#">国際登録1394764</a> *		XCELLAR ISPRO	-	エックスセルア リスプロ,エクセ ルアリスプロ	03 05 32	Dermaroller GmbH	2018/01/16	2019/08/30	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>
4	<a href="#">国際登録1523290</a> *		-	-	-	03 05 10	Dermaroller GmbH	2020/02/11	2021/08/27	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>
5	<a href="#">国際登録1523325</a> *		T y m p a c u r	-	タイムパクール, ティムパクール	03 05 10	Dermaroller GmbH	2020/02/11	2021/08/27	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>
6	<a href="#">国際登録1560243</a> *		XCELLAR ISPRO	-	エクセラリスブ ロ	10	Dermaroller GmbH	2020/07/23	2022/01/07	 存続-登録-継続	<a href="#">経過情報</a> <a href="#">公報表示</a> <a href="#">URL</a>

# ダーマローラー HC902 (Homecare Roller)

- ・長さ0.2mmの短いマイクロニードル
- ・皮膚の上層(表皮)に適用:顔・頭・デコルテ
- ・ほとんど痛みのない治療
- ・ドイツでの厳しい品質基準の下で製造および監視されている針の品質です。安価なレプリカに過ぎない、他社メーカーで匹敵する製品はありません。
- ・約50回の施術が可能。
- ・針列9列(長さ0.2-0.3mmのマイクロニードル162本)のダーマローラー。
- ・使用目安:週2~3回。

## メリット

- ・明るくみずみずしい肌のトーンを提供します
- ・クリアできれいな肌色を作ります
- ・古い皮膚細胞を取り除きます
- ・皮膚の傷やニキビ跡を減らすことができます
- ・大きな毛穴を減らすことができます
- ・血液循環を刺激することができます



Dermaroller HC902 イメージ動画

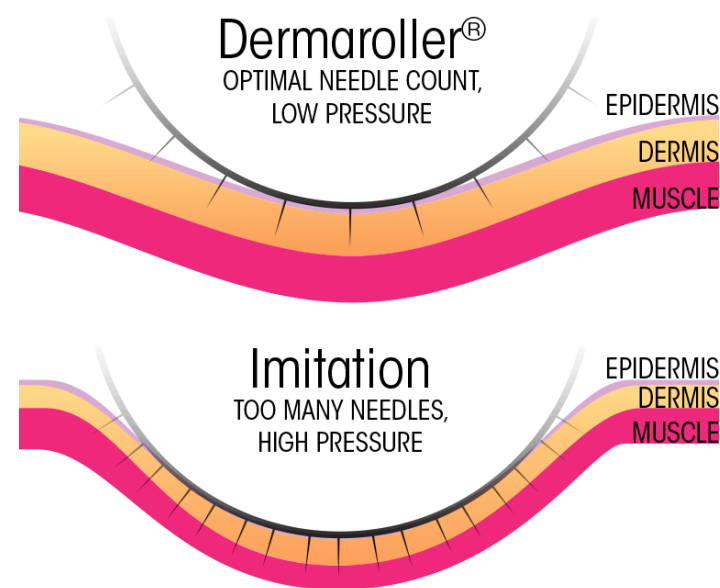
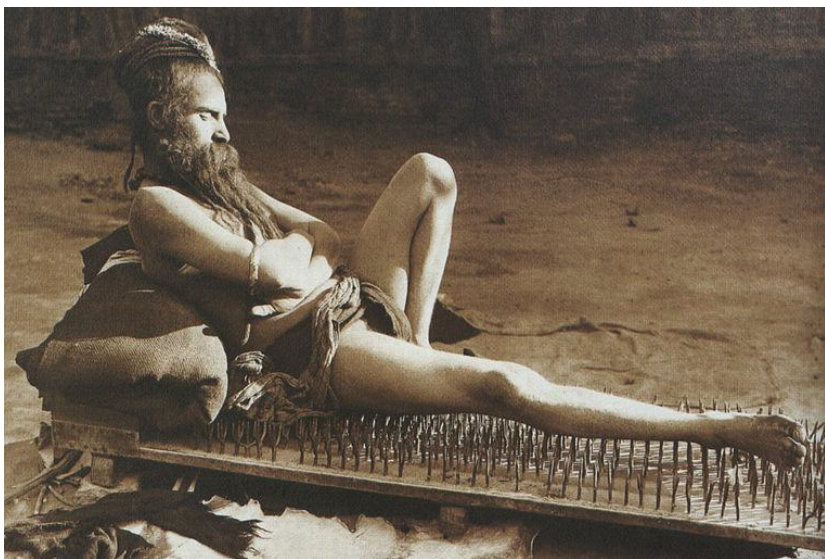


# ダーマローラーオリジナル:最適な針の本数

162本の鍼長0.2mm~0.3mmで極小(最大線径0.08mm)の医療グレードステンレス製マイクロニードルが90度の角度

で当たることで、肌を傷つけることなく、肌再生を促し、有効成分が最適に吸収されるよう設計されております。

※針の配置が密集しすぎると、皮膚への圧力が強くなり、損傷の基となります。

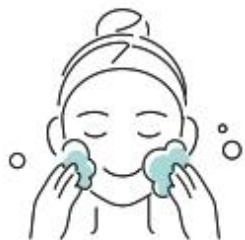


# HOW TO USE

週2-3日のナイトケアで肌再生を促す

1

Cleansing  
クレンジング



クレンジングして水分を丁寧  
にふき取ってください。

専用のエクセラリスプロ  
ディープクレンザーをお勧め  
めします。

2

MicroNeedling  
マイクロニードリング



ダーマローラーHC902を  
やさしい圧力で  
水平方向、垂直方向、斜  
め左右方向へ2~3回、  
星型に転がすと、均一な  
パターンが得られます。

3

Recovery  
回復



使用直後は炎症が起こっ  
ているため、お肌の回復  
のために10~15分間休  
ませてください。

4

Roller Cleaning  
ローラークリーニング



お湯ですすぎ、乾燥させま  
す。専用のローラークリ  
ナーを4回均等にスプレー  
し、3分間放置してから、  
プラスチックケースに収納  
します。

5

Skin Care  
保湿 + 有効成分



適切なケア製品を使用し  
てください。

エクセラリスプロシリーズ  
が特に適しております。

\*衛生上の理由から他人との共有は厳禁ですのでご注意ください。

\*18歳以上の成人の健康な肌にもみ使用することを前提としております。にきびや湿疹などがある場合はご使用をお控えください。

\*ダーマローラーを正しくお使いになれば50回以上使用可能ですが、使用開始後は3ヶ月を目安に交換するようにしてください。

\*マイクロニードリングのコラーゲン誘発を実感するには6ヶ月~12ヶ月が目安になりますので、継続的なケアをおすすめします。

\*マイクロニードリング後は、紫外線やフリーラジカルもお肌に浸透しやすくなりますので、ナイトケアもしくは、適切なスキンケアとUV保護を行ってください。

\*ダーマローラーはセルフケア以外にはご使用にならないでください。(第三者への使用には医師・はり師免許が必要)





# 育毛 スカルプケア



# FAQ

## **Q: ダーマローラーにオリジナル(正規品)とイミテーション(模造品)があるのでしょうか?**

A: Demaroller GmbH(ドイツ)は、マイクロニードリングの立案者であり、ダーマローラーの特許・商標等を取得している世界基準企業です。Demaroller GmbH(ドイツ)で製造されたマイクロニードリング用のローラーが、Demaroller Original(ダーマローラーオリジナル)と一般的に言われております。

## **Q: ダーマローラーは医療機器なのでしょうか?**

A: 医療機器とは、身体の構造若しくは機能に影響を及ぼすことが目的とされている機器ですので、ダーマローラーは、もちろん医療機器になります。(ダーマローラーHC(医療機器届出番号:17B2X10006000001))もし、医療機器ではない類似品がございましたら、薬機法違反の可能性が高いので、ご使用をお勧めできません。

## **Q: ダーマローラーHC902は他社でも購入できますか?**

A: ダーマローラーHC902は、Demaroller GmbHの日本認定販売元である(株)Transparenceが日本に流通しておりますので、基本的には(株)Transparenceを介した販売、卸売、代理店以外では購入することができません。

## **Q: ダーマローラーの針の長さはどのくらいがよいのでしょうか?**

A: 針の長さは長ければよいというものではございません。顔の表皮の厚さは0.07mm~0.2mm程度ですので、コラーゲン誘発療法やターンオーバーの促進には、0.2mm程度で十分な効果を発揮します。ダーマローラーHC902は、十分な効果を発揮でき、かつ、出血のリスクがなく、肌へのダメージを最小限に抑えた0.2mm~0.3mmの針の長さに設計されております。※0.5mm以上の針は安全面からセルフケアでは推奨できません。医療機関にご相談ください。

# FAQ

## Q: ダーマローラーHC902の線径はどのくらいでしょうか?

A: ダーマローラーHC902の最大鍼径は0.08mmです。一般的に使用する鍼の最小線径は0.10mm(03番)ですので、それよりも細くなります。この極小の医療グレードステンレス製マイクロニードルを使用しておりますので、穿刺孔はほんのわずかとなり、悪意に肌を傷つけず、肌へのストレスを最小限にとどめるように設計されております。

## Q: ダーマローラー(マイクロニードリング)の副作用として色素沈着のリスクはあるのでしょうか?

A: マイクロニードリングのこれまでの研究や学術によると、針の長さが長くなるほど副作用の重症度が高くなります。針が短いほど、痛みが少なくなり、出血、術後の赤み、腫れの傾向が小さくなります。ダーマローラーHC902で取扱説明書を順守した場合の副作用の報告はございません。一時的な痛みと腫れがわずかにある程度です。炎症後の色素沈着のリスクは低く、皮膚感染のリスクも低いです。※マイクロニードリング療法では、皮内塗布に適していない薬品や美容液等を使用しないでください。色素沈着等のリスクが大きくなるのは、

- ・長い針のマイクロニードルを使用した場合(医療機関にご相談ください)
- ・皮内塗布に適してない美容液等を使用した場合(エクセラリスプロシリーズをお勧めします)
- ・Dermaroller GmbHの正規品ではない模倣品を使用した場合
- ・取扱説明書を遵守しなかった場合となります。

## Q: マイクロニードリングの効果が現れるのはどのくらい期間がかかりますか?

A: Fabbrocini医師の研究発表によりますと、“誘発されたコラーゲンは長期間にわたって成熟するため、はっきりと効果が現れるのは約6~12ヶ月の期間を要する。”(e.g., Aust et al. 2008, Fabbrocini et al. 2009, Fabbrocini et al. 2012)となっておりますので、継続的なケアをお勧めいたします。



# FAQ

## **Q: ダーマローラー使用後に10～15分間を空けるのはなぜでしょうか？**

A: ダーマローラー使用直後は、お肌に軽い炎症が起こっている状態ですので、直後に美容液を塗布する行為は、痛みと腫れの原因となります。また、感染症リスクも上昇しますので注意が必要です。10～15分間お肌の回復を待って有効成分を塗布するようにしてください。(経皮吸収効果の差はございません)

## **Q: ダーマローラーHC902は3ヶ月で交換しないといけないのでしょうか？**

A: 安全面や衛生上の理由から約3ヶ月での交換をお願いいたします。ダーマローラーHC902の鍼は極小で、少しの衝撃でも変形してしまいますので取扱に十分気をつけながらご使用ください。鍼の折れや曲がりなど変形した製品は肌に不要な傷をつけてしまいますので、必ず交換するようにしてください。

## **Q: ダーマローラーをもっと高級志向のデザインにされないのでしょうか？**

A: ダーマローラーHC902は医療機器です。(医療機器届出番号:17B2X10006000001)かつ、研究を積み重ね、効果を最大限に発揮できるような精密で人間工学に基づいたデザインを採用しております。医療機器として登録されている製品は、一般的に見た目が派手な製品や斬新なデザインの製品はないと思います。医療機器はデザインより、安心・安全が優先されるため、人体に影響がないと評価された材質等を使用する必要がありますし、機能に関係のない装飾等は基本的に認められておりません。

## **Q: ダーマローラーHC902を使用した翌日はお化粧しても大丈夫でしょうか？**

A: 肌の状態がいつもと変わらない場合にはお化粧は可能です。個人差によっては翌朝も肌がヒリヒリする方がいらっしゃいますので、そのような場合には大事をみてお肌を休めていただくようお願いいたします。

## 市場データ（参考）

●マイクロニードルの世界市場は2027年に16億6000万米ドルに達する。世界のマイクロニードル市場は、2020年に約12億5000万米ドルと評価され、2021年から2027年の予測期間において3.8%以上の健全な成長率で成長すると予想されています。※マイクロニードルはダーマローラー以外に美容医療用マイクロニードリングデバイス等も含まれます。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000004312.000067400.html>

**世界で約2000億円市場、日本のGDPより日本市場を7%と仮定すると140億円市場、今後も3.8%成長。**マイクロニードリングデバイス（ツイスト）も今後個人輸入サポート予定。成長性は十分にあると考えられる。

●世界のダーマローラーの市場規模は、2020年に2億9,740万米ドルとなり、2021年から2030年まで6.7%のCAGRで拡大し、2030年には5億6,560万米ドルに達すると予測されています。

<https://www.gjii.co.jp/report/amr1040304-derma-rollers-market-by-application-demographics.html>

**世界で約500億円市場、日本のGDPより日本市場を7%と仮定すると35億円市場、今後も6.7%成長。**日本には現在、偽造品のダーマローラーしか流通していないため日本市場をほぼ独占できる可能性が高い。

●日本国内における美容医療の市場規模も年々増加しており、この10年で1,000億円近く増加して**3,200～3,700億円超**と言われている。また、日本人の大きな特徴として顔の施術を特に好む、ということがあげられている。世界全体の治療のうち、顔の美容に関する施術は4割に過ぎないが、**日本国内ではなんと9割以上が顔の治療**なのだという。※マイクロニードリングは美容医療市場に分類される。

<https://womanslabo.com/all-case-190704-5>

日本国内でマイクロニードリング／ダーマローラーが普及する可能性は大きいと考えられる。